

公開授業

宇治市立榎島中学校

生徒の意欲関心を引き出す教具や環境

こんな道具もあるよ。使ってみる？

理科1年 第1分野 「光・音・力による現象」

第1章「光による現象」 授業者 安野 哲生

生徒が見つけた虫めがねを使ってできる「不思議なこと」を、学習課題として設定しました。完全に光を遮断した環境や様々な光源を準備することで、生徒は知的好奇心を刺激され、意欲的に考えたり、実験したりしました。



英語科3年 「Unit3 Living with Robots-For or Against」

授業者 関 和也

教科書の本文を読み取り、ロボットの必要性について考え、グループで交流しました。わかりやすい英語で授業が進められ、スモールトークや意見交流で、英語を聞いたり、読んだり、話したりする時間が十分に確保できており、即興で自分の考えを発信する力を育成することにつながっていました。

授業者 嵯峨原 成人



Perfect! Nice try!

自己肯定感を高めるほめ言葉



It works in dangerous place.

対話の中で正しい英文を伝えていく

宇治市立大久保小学校

国語科 ひろの学級 「『レシピ集』を作ろう」

授業者 清水 朋子

児童が楽しみにしている「じゃがもち」のレシピをみんなで作りました。児童と先生、児童同士の対話を大切にしながら、授業を進めました。具体物や写真やカードなどの教材を準備するなど、興味関心を引き出すためにいろいろな工夫をしていました。

すべての児童に活躍の場を与える

さあ、家庭科で学習した知識を活かして



国語科 1年「ことばを見つけよう」

授業者 中島 麻理子

ことばの中に隠れている別のことばを見つけたり、主語によって「ある」「いる」のどちらが適しているのかを考えたりしました。付箋を活用したグループでの話し合い活動では、「この意見は、こっちだよ」と付箋を動かしながら、活発に交流する姿が見られました。

今日は「ことば」でかくれんぼをするよ

児童の興味を深める導入



国語科 2年 じんぶつと自分をくらべて読もう
「わたしはおねえさん」

授業者 山根 友加

主人公が大きく成長した場面について、文章をもとにどの段階で変わったのかを考えました。一人学びが終わると、指示されなくても近くの席の児童同士で話合いが始まりました。全体交流では、指導者が児童の思考をゆさぶることで、それぞれの考えが引き出されました。

言葉にとことん着目して考えさせる

「見えました」と「見えてきた
のです」では、どう違う？



国語科 3年 場面のうつりかわりをとらえて、感想をまとめよう
「ちいちゃんのかげおくり」

授業者 内藤 まり香

「ちいちゃんの思いは叶ったのかどうか」について、叙述をもとに考え、自分の立場を明らかにして意見を出し合いました。児童は「主人公に寄り添って」「事実を目を向けて」等、視点の違いにより、意見に違いが生まれることにも気づきました。

文中では家族に会っている「けれど」、最後には？

2つの視点を対比させる発問



国語科 4年 読んで考えたことを話し合おう「ごんぎつね」

授業者 西村 元気

「ごんと兵十は心を通じ合わせることができたのか」という課題に対して児童が意見を交流しました。心情曲線を活用することで、登場人物の行動や気持ちを段階的に見取ることができるとともに、学級としての納得解を探す有効な手段となりました。

心情曲線を活用して登場人物の気持ちを見える化

兵十が「かけよってきた」
のは、何のため？



国語科 5年 すぐれた表現に着目して、物語のみりよくを伝え合
おう「大造じいさんとガン」

授業者 水上 賢至

登場人物の性格や物語の展開や様子、効果的な表現をもとに、物語の魅力をキャッチコピーにまとめました。魅力について、叙述をもとに自分の考えをもち、グループ・全体での話合いを通して深めました。

机間指導で児童の意見を把握

〇〇さんも同じことを
書いていたね



国語科 6年 伝統文化を楽しもう「狂言 柿山伏」

授業者 永井 直子

言葉や文章、話の展開に注目して、音読の工夫について考えました。友だちの意見を聞いて、更に自分の考えを広げ、グループで納得解を出すことで、狂言の読みを深めました。

ゆさぶる発問で根拠を明らかにさせる

どの言葉からそう思った
の？



全体会



課題提起

新学習指導要領の全面实施に向け「主体的・対話的で深い学び」を実現させる授業改善の必要性について共有化しました。

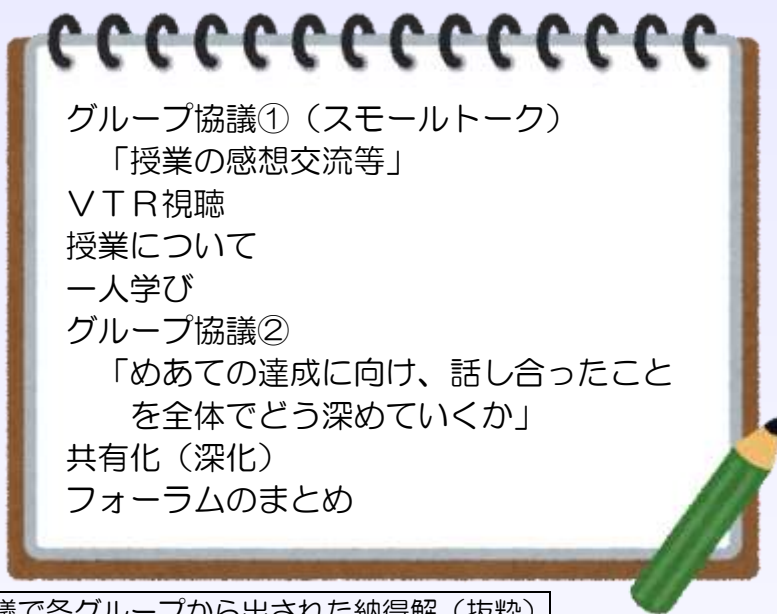
さらに「話し合い活動」とその共有化（深化）について課題提起を行い、フォーラムの目的、交流協議の目指すべきゴール、協議の柱等を確認しました。

交流協議

本フォーラムで公開された授業（中学校では3授業・小学校では7授業）、中学校では安野先生、小学校では水上先生の授業を事前撮影したVTR（10分程度に編集）、授業者代表や研究主任の話、課題提起、そしてそれぞれの自己の実践内容を情報源として、柱に沿って小グループで交流協議を進めました。各グループで納得解を探り、キーワードにしてまとめました。

協議の柱「めあての達成に向け、話し合ったことを全体でどう深めていくか」

交流協議の流れ



協議で各グループから出された納得解（抜粋）

榎島中学校

原因を考えて問題解決	課題設定 つぶやきをひろう 学ぶ前と学んだ後でどう変化したか	話し合うことの“必然性”	主体性をもたせるしかけ 疑問を活かす
身近なことから課題を設定する	本質的な問い	可視化 意外性	発表がゴールじゃない
あきさせない授業展開	思考の見える化 少数派の意見の活用	教材理解・生徒理解 話し合ったことへの返し方 全体→個人の振り返りへとつなげる	言葉のキャッチボール

大久保小学校

子どものつぶやき
「めあて」の意識

発問としかけ

日々の学級づくり
教師の働きかけ

子どもと子どもでつなぐ
自分の考えの変化

解決するための
ゆさぶり

声かけ
一人学び
第一思考・第二思考

適切な課題設定
意見をつなげる

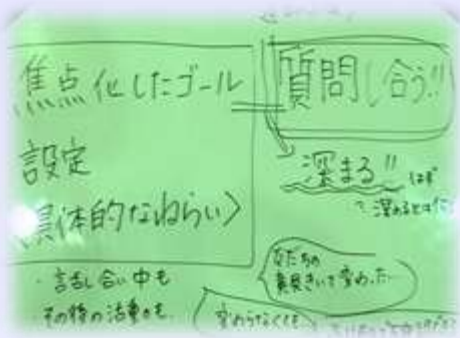
全体で広げる
個人で深まる
(振り返り)

考え直すための
きっかけ

明確なゴールに向
かわせる

視覚化
必然性を取り入れた単元計画
信頼関係づくり

コーディネート力
～教師がつなげる
子どもがつなげる～



まとめ

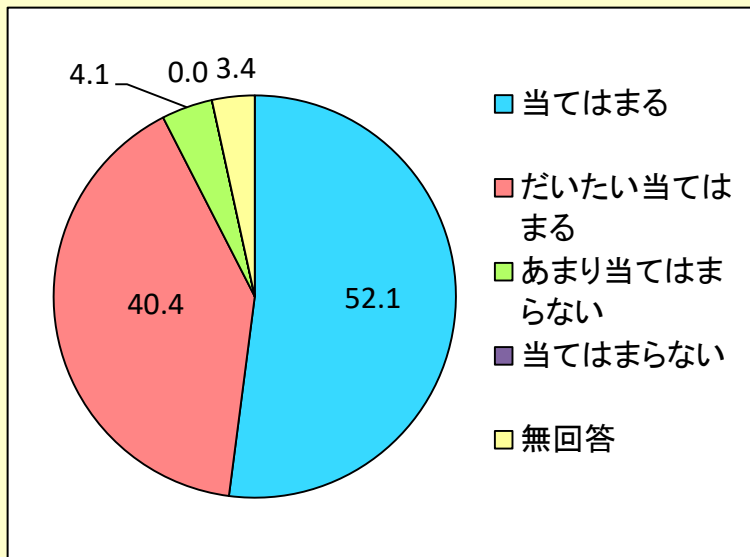
- ① ベースとなる学級経営→安心して「なぜ？」と言える教室
- ② 話し合い活動までに→必然性、「話し合いたい」と思わせる仕掛け、本質的な問い
- ③ 話し合い活動中に→つぶやきを活かす、ゆさぶる発問、視覚化、「めあて」を意識させる
- ④ 話し合い活動後に→多様な意見を知る、つなぐ、ゆさぶる、視覚化する→ファシリテーション力

魅力ある授業のための4K対応を！

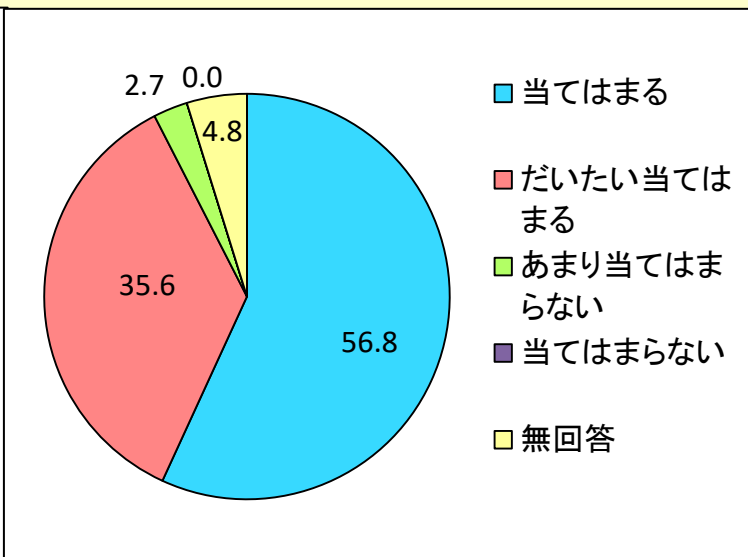
- ① 共感
児童も生徒も笑顔にするエネルギーな雰囲気を用意してほしい
「ほめて」自尊感情を高め、「認めて」自己有用感を高めてほしい
- ② 交流
交流する時間を積極的につくり「人と関わるのは楽しい」と思わせたい
交流したくなる流れをつくり「交流することは楽しい」と思わせたい
- ③ 気配り
全体を見ながら個別対応できる机間指導を目指してほしい
児童生徒の「わかった」「困った」に気づき、授業展開に活かしてほしい
- ④ こだわり
「チーム学校」で、組織的に授業改善を進めてほしい
授業に、教材に、こだわりをもって教えてほしい

令和元年度山城地方教育実践フォーラム(小学校・中学校) 参加者アンケート集約結果

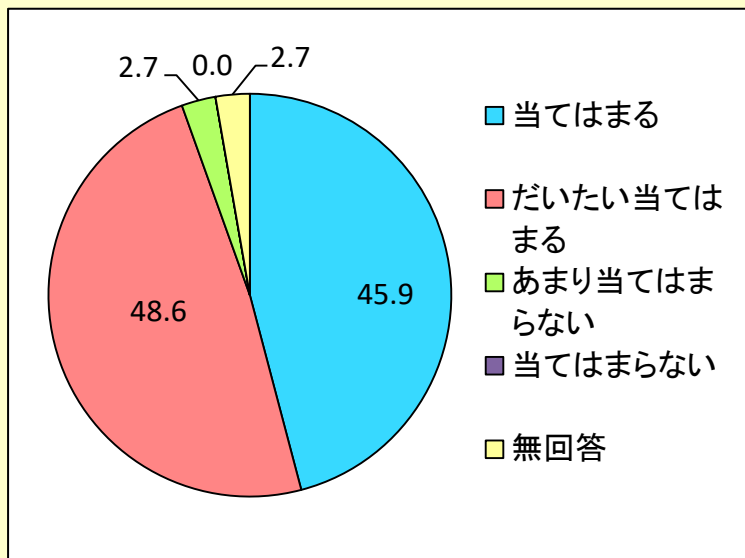
公開授業は参考になった



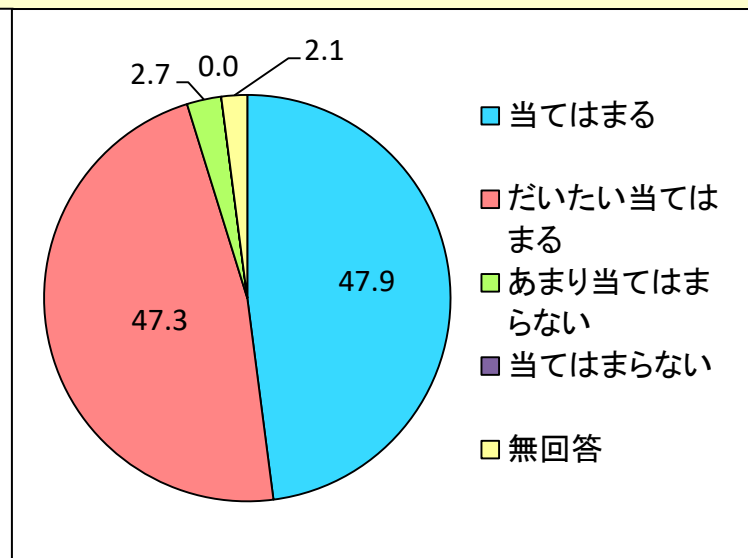
交流協議は参考になった



主体的・対話的に深く学ぶことができた



自校で活かそうな情報が得られた



令和元年度山城地方教育実践フォーラム(小学校・中学校) 参加者アンケートより(抜粋)

全員が話し合いに参加する姿を見ることができました。自分の学級においても、この姿を目指していきたいと思いました。

子どもとの対話を通して、課題を解決していく授業でした。子どもたちは日々の学びを活かしながら、自分の考えを表現しており、先生との信頼関係も感じられました。

自分の意見を伝え、他者の意見を知ることによって、思考が深まることを再認識しました。教師が対話の中で意図的にヒントを与えたり、発言をつないでいくように仕掛けたりするのが、とても良かったです。

一問一答ではなく、子どもたちが考えて、多様な意見を出す発問をされていました。行き詰まったと感じたら相談の時間をとるなど効果的に適切な形態の話し合い活動が行われ、とても参考になりました。

「主体的・対話的で深い学び」が行われていました。子どもが「学びたい」と思えるようなアプローチが重要だと思いました。

小学校からの積み上げの大切さ、小中連携の必要性を改めて考えることができました。

各グループから出された意見は、どれも納得のいく内容でした。今後、話し合い活動をさせる際には、今日の内容を参考に活動を進めたいと思います。

子どもたちが話し合いで何を学ぶかということを教師が明確に理解していないといけないと思いました。教師が、話し合いの前と後では子どもの意見がどう変わったのかを見取ることが必要だと思いました。

思考の流れがわかるように「視覚化」することの大切さを改めて認識することができました。授業でも、ホワイトボードや付箋を活用し、どんな意見が出て、どうまとめたのかがわかるようにしていきたいです。

他の学校も同じ課題を抱えていることがわかりました。深めるための手法として、子どもの意見をつなぐことが大切で、そのための教師のファシリテーション力を向上させる必要性を感じました。

グループ内で協議したことをまとめるのが難しかったです。全体で出された意見は、どれも納得のいく内容でした。

話し合い活動を自分たちで身をもって体験できるこの交流協議の進め方は、授業に活用できるので、よかったと思いました。

